

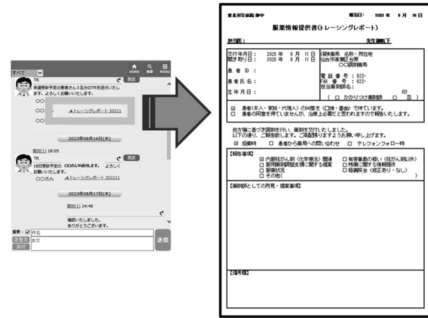


## MMWIN<sup>®</sup>みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol.110

### コミュニケーション機能を介した薬薬連携活用例

今年8月に開催した保険薬局様向けのWEB講座では、東北労災病院薬剤部主任 熊谷 史由先生より、トレーニングレポート (TR) の授受について、従来のFAXからMMWINのコミュニケーション機能を利用した運用に、変えていく取り組みについてお話がございました。試験運用としては、今年5月より始められ、およそ半年が経過いたしました。この取り組みに参加されている1人であるカメイ調剤薬局台原店管理薬剤師の佐々木 貴彦様に保険薬局様側からの感想などを伺いました。



#### 【試験運用の依頼を受けた時の感想は】

試験運用に参加する前は、FAXを利用してTRを送信していました。FAXだと一方的な情報の発信となってしまいますが、コミュニケーション機能を利用すれば、チャットのような情報のやり取りができると思いました。また、送る側としては1日に1~2件ですが、受け取る側は、1日に何件もFAXを受け取ることで、負担になっているのではないかと感じていたため、少しでも負担を軽減できるのであれば、MMWIN上でのやり取りを進めたいと思いました。



カメイ調剤薬局台原店  
管理薬剤師 佐々木 貴彦 様

#### 【実際にコミュニケーション機能を使ってみて】

FAX送信で一番気になっていたのが、送った情報が間違いなく届いているかどうかでした。MMWINのコミュニケーション機能を利用した場合は、メールよりも簡単な情報のやり取りが可能です。情報を受け取ってもらったことや、診療科に情報を提供してくれたこと、カルテに記載をしてくれたことなどリアクションをしていただくことで、情報提供の手ごたえというものを実感することができました。具体的な方法としては、病院側からいただいたフォーマットを基に内容を記入し、薬剤部の方へファイルを添付して送信しています。顔の見える関係ということもあり、メールでは用いられる挨拶文などを省略して情報のやり取りができていることが、より気軽に情報提供をできている要因かと思われます。現在は、月に20件前後のTRをMMWINのコミュニケーション機能を介して送信しています。次回診察時までに見てもらいたい情報であれば、通常通り送信し、緊急性の高いものに関しては、電話で相談するなどの対応をしています。他には、抗がん剤のレジメン変更についての退院時サマリーを受け取ったり、病院で得られた患者さんの残薬情報の情報共有をしたりしています。出荷調整中の薬剤に関する薬局の在庫状況の連絡にも使用したことがありました。

#### 【その他のMMWIN活用例】

入院時の投薬内容や、検査値の確認に利用しています。患者さんがお薬手帳を忘れた時など、得たい情報をMMWINで確認しています。残念ながら、その患者さんがMMWINに入っていないことも多いため、今後は、MMWINに加入する患者さんが増えていくことを期待します。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。